

学位論文及び審査結果の要旨

氏 名 崔 熙元

学位の種類 博士(工学)

学位記番号 工府博甲第435号

学位授与年月日 平成26年9月25日

学位授与の根拠 学位規則(昭和28年4月1日文部省令第9号)第4条第1項及び横浜国立大学学位規則第5条第1項(論博の場合は第2項)

学府・専攻名 工学府 社会空間システム学専攻

学位論文題目 **Study on the regionalization of the residential facilities for the elderly as community resources**
(地域資源としての高齢者居住施設の立地特性と地域浸透性に関する研究)

論文審査委員 主査 横浜国立大学 教授 大原 一興
横浜国立大学 教授 北山 恒
横浜国立大学 教授 佐土原 聡
横浜国立大学 教授 高見澤 実
横浜国立大学 准教授 藤岡 泰寛

論文及び審査結果の要旨

わが国では急速に高齢化が進展し、中でもとくに後期高齢者層の増加にともなう介護のための生活環境整備が喫緊の課題である。大都市部周辺では居住施設としての介護施設が不足し、その整備においては施設の最適配置を検討するよりも量的拡充が優先されている。しかし高齢者の居住施設および入居者は地域の一員として存在するものであり、地域環境条件との整合性、地域社会に溶け込み位置付くことが重要であるとの視点にたつて本論は展開されている。本論文は9つの章から成る。

第1章では、研究の社会的背景と本研究の目的について、また第2章では、研究の位置付けとして、既往研究のレビューと研究方法、本論文の構成を示している。

第3章では、本研究の対象である高齢者施設について、高齢者の介護や福祉サービスの

流れを把握することから現代的な制度の中での本研究の意義を見いだしている。

第4章では、高齢者居住施設の立地特性の現状を把握するために、4つの施設種類(高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム、特別養護老人ホーム)を対象に、各施設の立地の現状を分析している。

第5章では、施設が立地する環境の特性が、施設のサービスや地域における役割にどのような影響を及ぼすかに着目した。全国の特別養護老人ホームを対象にし、その運営者の地域に対する意識調査から、施設の分類等をおこなっている。

第6章では、施設の立地する環境が施設周辺住民の意識に及ぼす影響に焦点を当て、施設に対する意識などの調査を住民に対しておこなっている。

第7章では、施設に対する意識に影響を及ぼす要因を分析し、4つの接触(サービス接触、施設接触、情報接触、感覚的接触)が存在するものとし、これらが住宅地の形態によって異なることを示している。

第8章では、今までの考察内容をもとに各地域類型ごとの適用方法を例として提案し、各主体に対する提言の形でまとめた

第9章は、最終的な結論をまとめている。

本論文における、高齢者居住施設整備上の問題提起は、これまでの公的な社会サービス施設の供給整備計画の方法論において、改めて地域条件を考慮することの重要性を提起している。施設単体の建築計画と施設配置計画など自治体の社会計画との関係について、その重要性を指摘するものであり、建築計画において新たな理念を提起する論文と言える。また実証的な地理的条件の分析や市民の施設に対する意識など調査方法の複合化なども特筆しうる。以上より、本論文は、本工学府の博士(工学)の学位論文として十分な価値を持つものと認められる。